

火災による「逃げ遅れゼロ」へ

ご存知ですか？火災による死者の多くが高齢者です！

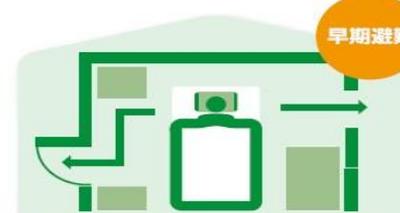
奈良県広域消防組合管内では、令和4年に入り24件の火災が発生し、7名（いずれも65歳以上の高齢者）の方がお亡くなりになっています。（令和4年1月17日現在）全国的に見ても、住宅火災による死者のうち、約7割が高齢者となっており、死亡原因の約6割が逃げ遅れとなっています。住宅火災による**逃げ遅れゼロ**への取り組みとして、次の4つの習慣、6つの対策を実施していただき、住宅火災から「いのち」を守りましょう。

住宅防火 いのちを守る **10** のポイント

4つの習慣

-  **1** 寝たばこは絶対にしない、させない
-  **2** ストープの周りに燃えやすいものを置かない
-  **3** こんろを使うときは火のそばを離れない
-  **4** コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策

-  **1** 火災発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
-  **2** 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
-  **3** 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する
-  **4** 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
-  **5** お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
-  **6** 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防災対策を行う



奈良県広域消防組合

NARA WIDE AREA FIRE DEPARTMENTS since 2014

